

7 開催支援

(1) 警備体制

北海道警察は、実行委員会等と連携し、各国代表団の来道日程や各種行事の概要などについて情報共有を図りながら、大臣会合の開催に向けた警備体制の整備、検討を行った。

期間中、「北海道警察総合警備本部」と、現地に「会場現地警備本部」を設置し、所要の警備体制を構築して大臣会合の警備を行った。



(2) 消防救急体制

① 北海道総務部危機対策局

各消防機関が必要な対策を円滑に推進できるよう、各消防機関の役割や事前対策、期間中の消防警戒について定めた「G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合における消防警戒に係る基本事項」を策定した。

また、令和5年(2023年)4月13日から17日までの間、情報収集や関係機関との連絡調整のため、危機対策局事務室に職員1名を配置した。

4月14日と17日については、関係消防機関からの要請に備え、消防防災ヘリコプターの待機体制を確保した。

② 札幌市消防局

令和4年(2022年)12月1日に、大臣会合開催時における効果的な消防体制の確立に向け、「G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合消防対策会議」を設置した。

事前対策としては、大臣会合の会場や宿泊施設などの関連施設などについて、火災等の災害の未然防止、災害発生時の被害軽減などを目的に、警防調査や特別査察を実施した。

また、特殊災害を想定したシミュレーション訓練の実施や、地下鉄豊水すすきの駅において、北海道警察本部が主催するNBCテロ対処訓練に参加し、災害対応能力の強化を図った。

警戒当日の対応としては、4月14日から17日までの期間、消防特別警戒を実施し、「消防特別警戒本部」を消防局に設置し、大臣会合の会場や宿泊施設などを管轄する中央消防署に「現地消防特別警戒本部」を設置して本部機能を強化するとともに、大臣会合の会場で発生した災害に特化した消防部隊(指揮隊、水槽隊、救助隊、救急隊)を近隣施設に配置した。

また、大臣会合の会場や関連行事の開催会場に連絡員等を置くとともに、最寄りの消防庁舎には救急隊を配置し、万一の災害発生に備え消防救急体制を強化した。

③ 千歳市消防本部

大臣会合で来道する関係者が利用する空港施設において、令和5年(2023年)4月13日から17日までの間、空港情報員を配置し、事案の早期把握、消防警戒に係る情報の収集や関係機関への情報提供を行ったほか、隊員の増員により消防署に救急隊を移動配備し、消防隊を増強させて消防救急体制を強化した。



NBCテロ対処訓練



大臣会合の会場で待機する車両



札幌市消防局の会議の様子

(3) 医療・保健衛生体制

実行委員会と札幌市保健所、北海道保健福祉部は、大臣会合期間中の医療体制に万全を期すため、体制の整備を行った。

4月12日から16日の5日間、札幌市内の医療機関に対し、受診・救急搬送時の患者の受入、連絡体制構築等の協力を要請。市外の医療機関に対しても、必要な期間について同様の要請を行った。

また、大臣会合の会場内に設置された救護室へ市立札幌病院から看護師を派遣し、発熱等により関係者2名が救護室を利用した。

札幌市保健所は、食品関係施設や宿泊施設に対し監視指導を行い、施設が提供する食品による食中毒や環境衛生に起因する事故の発生を未然に防ぐため、食品衛生監視計画や環境衛生監視計画を作成するとともに、関係施設への立ち入り検査を実施した。

(4) リエゾン派遣

実行委員会は、各国代表団に配置されるリエゾンとして、北海道職員10名、札幌市職員11名の派遣調整を行った。

リエゾンは、各国の代表団に随行し、要望を事務局に伝える等の便宜を図ったほか、会議の円滑な運営のため、公式行事の時間・場所に遅滞なく誘導するなどの役割を担った。

(5) 応援職員派遣

実行委員会は、4月14日から16日の大臣会合期間中に開催支援業務を行う応援職員として、北海道職員4名、札幌市職員30名の派遣調整を行った。

応援職員は、大臣会合の会場、空港、宿泊施設、メディアセンターなどにおいて、各国参加者やメディア等がスムーズに移動できるよう、要所において案内等を行う役割を担った。